第46回神奈川県柔道整復学術大会



日 時 令和7年9月21日(日)

会 場 平成医療学園 横浜医療専門学校

主催 公益社団法人神奈川県柔道整復師会後援 神 奈 川 新 聞 社 一般社団法人日本柔道整復接骨医学会 公益社団法人日本柔道整復師会



日本の技と先端医療の融合。『術』を極める。

柔道整復師科

昼間部 13:00~16:10 60名定員 夜間部 18:30~21:40 30名定員

人間本来の自然治癒力を 目覚めさせる。

鍼灸師科

(はり師・きゅう師)

昼間部 9:00~12:10 60名定員 夜間部 18:30~21:40 30名定員



オープンキャンパス実施中!

9/13 (土)

10/5(目)

10/25

11/9(目)



横浜医療専門学校 https://www.yokohama-isen.ac.jp/













り

ご 挨 拶 公益	在社団法人神奈川県柔道	i整復師会 会	長 齋藤	武久・	• •	2
開催にあたって 公益	在社団法人神奈川県柔道	整復師会 学術	部長 村山	正 •		3
プログラム・・					• •	4
第46回神奈川県柔道整復学	华術大会実行委員				• •	5
昭和	大学 歯学部口腔解部 医科大学 歯学部口腔	· -	交 講師			
【 学術交流発表 】			井上	知先生 •	• •	6
	mergency Team)活動を 柔道整 社団法人 東京都柔道	を復師による救護	活動の意義			0
公血 【 会 員 発 表 】	1任団伝人 果尽郁条理	L 登 復 即 云	文) (建一)	郎会員・	• •	8
① 「橈骨遠位端骨折後の長	を母指伸筋腱断裂につい	いて〜対応と予防 川 崎支部	-	之会員・		10
② 「上腕骨小頭離断性骨軸	欠骨炎の2症例を考察」	大 和支部	山口善	弘会員 •		13
③ 「柔道整復師が取り扱う	超音波画像観察の歴史	?」 横浜西支部	村山	正会員 •		17
【出展会社】						
協 賛 各 社 ・・						21
編集後記・・					• •	32



ご挨拶

公益社団法人神奈川県柔道整復師会会 長 齋藤武久

第46回神奈川県柔道整復学術大会を開催するにあたりご挨拶申し上げます。

今大会も、学校法人平成医療学園横浜医療理事長のご厚意により、昨年に引き続き、こ こ横浜医療専門学校を会場としてお借りすることが出来、本日無事に開催するに至りまし たこと、本会を代表しまして衷心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、「2025年」も半年を過ぎ、人口減少、高齢者増の我が国の存立に深刻な状況を与える「2040年」までに15年という期限を、我々業界もどのように対処行くべきか、(公社)日本矛道整復師会が中心となって条色的な観点から方向性を明確にするべき検討

(公社)日本柔道整復師会が中心となって多角的な観点から方向性を明確にするべき検討 を行っています。

医療保険、介護保険、その他社会保障制度の下で、今まで以上に柔道整復師が広い見識に基づく多様性を以って、業務は勿論、公益事業を推進する必要があります。その基礎となるのは、日々の施術によって導かれる研究とエビデンスの構築が必要になります。また、過程おいて学術大会での発表と、真摯な議論が、施術の標準化を目指す我々にとっての淵源と考えております。

本日の特別公演は、昭和大学歯学部口腔解剖学講座 助教・昭和医科大学歯学部口腔解 剖学講座 講師・井上 知先生による「骨組織研究の進歩と骨折治癒過程のエコー評価」 をご講演いただきます。

最後に、学術交流発表をいただく(公社)東京都柔道整復師会 長 健一郎会員、なら びに本会会員の症例研究発表に対しまして本会を代表して心から敬意を現し、また感謝を 申し上げ、柔道整復学術大会の目的を達成できますことに、心から感謝申し上げ挨拶とい たします。



開催にあたって

公益社団法人神奈川県柔道整復師会 学術部長 村 山 正

第46回神奈川県柔道整復学術大会を迎え、本年も昨年同様 学校法人 平成医療学園 横浜医療専門学校をお借りし大会が開催できることを学校長および学校関係者に対し心よ り感謝申し上げます。

今回の講演に関しましても、横浜医療専門学校講師であり昭和大学歯学部口腔解剖学講座 助教・昭和医科大学歯学部口腔解剖学講座 講師であられます井上 知先生の講演を受 諾していただき本学術大会が盛況に開催することが出来ました。

また、発表者にありましては日常の業務の忙しい中論文、スライド等を作成していただき感謝いたします。論文を作成するということは、演題に関して多くの情報を取得し、また理解しなければ出来ません。必ず今回の事が患者に返還しよりレベルの高い柔道整復師術になることと思います。今後も来院される患者のために業界の発展を考えて学術事業にご協力をお願いし挨拶とさせていただきます。

多くの会員が参加くださることを望みます。

◇プログラム◇

日時 令和7年9月21日(日) 14時 場所 学校法人 平成医療学園 横浜医療専門学校 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町9-12

13時00分 開場

司会山口善弘

14時00分 開 会 式

表 彰 令和6年度県議会議長賞表彰 横浜南支部 八巻優汰会員

開会の辞 (公社)神奈川県柔道整復師会副会長 苅 谷 満 郎 大会会長挨拶 (公社)神奈川県柔道整復師会会長 齋 藤 武 久

来賓挨拶 学校法人平成医療学園横浜医療専門学校学校長 吉田洪先様

14時15分 《特別講演》

〈講師紹介〉 広報部長 小 野 博 道

〈講 師〉 昭和大学 歯学部口腔解剖学講座 助教

昭和医科大学 歯学部口腔解剖学講座 講師

学校法人 平成医療学園 横浜医療専門学校 講師

井上 知先生

〈演 題〉 「骨組織研究の進歩と骨折治癒過程のエコー評価」

15時15分《会員発表》

《学術交流》「T-JET (Tokyo Judo Emergency Team) 活動を通じて考察する

柔道整復師による救護活動の意義」

公益社団法人 東京都柔道整復師会 長健一郎会員

座 長 小 野 博 道

15時25分「橈骨遠位端骨折後の長母指伸筋腱断裂について~対応と予防~」

川崎支部 鈴木崇之会員 摩田正吾会員

15時35分「上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の2症例を考察」

大和支部 山口善弘会員座 長 奥田智秋会員

15時45分「柔道整復師が取り扱う超音波画像観察の歴史」

閉会式

総評 (公社)神奈川県柔道整復師会学術部長 村 山 正

表彰 (公社)神奈川県柔道整復師会会長 齋藤武久

閉会の辞 (公社)神奈川県柔道整復師会副会長 田 澤 裕 二

第46回 神奈川県柔道整復学術大会実行委員

大会会長 齋藤武久

大会副会長 苅谷満郎 田澤裕二

大会実行委員長 村 山 正

大会委員梅本彰吾田代優樹矢澤正司

小 野 博 道 平 野 佳 人

座 長 団 長 村 山 正

座長・会場 倉本和男 野田正吾 今野慎二

笠 原 秀 造 山 部 高 雄 山 本 長 生

久保田 武 晴 鈴 木 昌 子 奥 田 智 秋

松本進伊藤由嗣

司 会 山口善弘

大会総務 梅本彰吾 山﨑慎也 山﨑陽介

進 行 小野博道 山口善弘

映像 · 記録 山 部 高 雄 八 巻 優 汰

財 務 高橋雄一

特別講演



骨組織研究の進歩と骨折治癒過程のエコー評価

昭和大学 歯学部口腔解剖学講座 助教 昭和医科大学 歯学部口腔解剖学講座 講師 学校法人 平成医療学園 横浜医療専門学校 講師 井上 知 先生

骨折は年齢や性別を問わず、誰にでも起こりうる身近な外傷です。適切な治療が行われない場合、 偽関節などの後遺症を生じ、日常生活に深刻な影響を及ぼします。柔道整復師はこれまで、多様な 骨折に対して独自の工夫を凝らし、治療にあたってきました。

骨癒合の評価には X 線検査が一般的ですが、接骨院では主に臨床所見や超音波検査を用いて患部の状態を把握しています。しかし、骨癒合の進行状況をリアルタイムかつ客観的に評価することは依然として課題となっています。

今回は、骨組織に関する最新の話題を概説するとともに、昨年論文として発表した骨折修復過程と超音波画像所見との関連性について講演させていただきます。

参考論文

Utility of ultrasound imaging in monitoring fracture healing in rat femur: Comparison with other imaging modalities. Bone Rep. 2024 23:101807. doi: 10.1016/j.bonr.2024.101807

【学歴】

2006年 日本工学院八王子専門学校 柔道整復学科 卒業

2014年 東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科ヒューマンデザイン専攻 修士過程修了

2018年 昭和大学大学院歯学研究科 博士課程修了

【職歴】

2006 年 学校法人小倉学園 新宿鍼灸柔整専門学校付属接骨院·整形外科

2009年 医療法人団体 康佑会 あおき整形外科内科

2012年 麹町白石接骨院

2016年 ことぶき接骨鍼療所(現在に至る)

2018年 昭和大学歯学部口腔解剖学講座 助教

2024年 昭和医科大学歯学部口腔解剖学講座 講師 (現在に至る)

[MEMO]



《東京都柔道整復師会交換交流発表》 T-JET (Tokyo Judo Emergency Team) 活動を通じて 考察する柔道整復師による救護活動の意義

東京都柔道整復師会 西多摩支部 学術部長 長 健一郎会員 協同研究者:東京都柔道整復師会 針谷 泰介会員·松田 卓也会員

【はじめに】

本会では、柔道整復師による柔道大会での救護活動を長年にわたり継続してきた。これらの活動は、慣習的な対応を中心に実施されてきたが、実績の蓄積に伴い、体系的かつ専門的な支援体制の構築が求められるようになっている。

こうした背景を受け、本会では「T-JET (Tokyo Judo Emergency Team)」を構築し、柔道大会等における救護活動において柔道整復師が救護係として派遣される体制を整備した。現在ではこの活動が定期的に行われており、柔道整復師の専門性を活かした実践が進んでいる。

本稿では、T-JET による救護活動の事例を負傷 部位および傷病の分類と現状を分析し、今後の展 望や柔道整復師にとっての存在意義を再確認し、 さらなる発展を目指すべく考察する。

【 方法と活動概要 】

T-JET とは、柔道整復師を中心に編成された救護派遣チームであり、都内中体連・高体連柔道大会、東京マラソン、レガシーハーフマラソン等に定期的に派遣されている。2024年度には中高体連48大会に延べ96名が、都柔連主催大会には延べ60名、実業団大会には延べ6名が参加した。

また、東京マラソンには20名、レガシーハーフマラソンには28名が派遣されている。

本報告では、令和3~5年度の中体連・高体連柔道大会において対応した救護事例152件を対象とし、負傷部位および傷病の分類を行い、柔道競技特有の負傷傾向や救護活動の現状を分析した。

【 結果と分析 】

負傷部位別では、頭部・体幹部が 31%、上肢が 20%、下肢が 36%、その他 13%であり、下肢への負傷が最多となった。

傷病分類では、捻挫 41%、骨折・脱臼各 20%、打撲 9%、挫傷 8%、その他 2%という結果が得られた。骨 折症例では鎖骨骨折が 55%と最も多く、脱臼は肩 鎖関節、肩関節、肘関節の順に発生していた。

頭部および頸部の受傷は全体の 45%を占めており、脳震盪や頸部損傷など重篤なリスクを伴う傷病も複数確認された。意識障害を伴う重症例への対応には、現場での初期判断能力および医師との連携体制の確立が求められる。

【考察】

柔道整復師が大会現場で担う救護活動には大きな意義がある。柔道競技は、投げ技や受け身といった身体への衝撃を伴うため、外傷の発生リスクが高く、迅速な初期対応が重要である。

T-JET の活動は、これらのリスクを軽減し、競技の安全性を担保する社会的役割を果たしている。また、救護活動を通じて、柔道整復師の専門性および医療職としての存在価値を地域社会や行政機関、他医療職種に認知させる機会ともなっている。

現場経験の蓄積は、柔道整復師としての理論と 実技を統合し、実践に活かす重要な場である。

【 今後の展望と結論 】

T-JET は、柔道整復師の専門性を最大限に発揮できる場であると同時に、競技現場の安心・安全を支える基盤でもある。今後はさらなる医療機関との連携体制の強化と、救護活動後の振り返り(フィードバック)を共有する仕組みの整備が重要である。これにより、対応の精度を高め、同じ課題の再発防止を図ることができる。

私は今後も本活動へ継続的に参加し、柔道整復師としての知識と技術を救護現場に還元していくことで、「頼れる医療人」としての社会的存在意義の向上を目指す。



橈骨遠位端骨折後の長母指伸筋腱断裂について ~対応と予防~

川崎支部 鈴木 崇之会員

【keyword】橈骨遠位端骨折·長母指伸筋腱断裂 <はじめに>

橈骨遠位端骨折は柔道整復師が対応すること の多い骨折の一つである。橈骨遠位端骨折の合併 症には様々な疾患があり、来院時の問診や施術期 間中の症状変化を把握しておくことは合併症を 早期発見するために重要である。しかし、諸般の 状況下で柔道整復師が骨折の施術経験を積む機 会が減少しているように感じる。

今回、橈骨遠位端骨折後に生じた長母指伸筋腱 断裂に関する2例を経験したので文献的考察を加 え報告する。

<症例1>

70代女性。令和6年10月19日テニス中に転倒 し受傷した。近医を受診し橈骨遠位端骨折の診断 で徒手整復と sugar tong 固定を受けた。経過中 に転位を生じたため手術適応となり10月30日に 手術を受けた。その後、近医で経過をみながら11 月 22 日当院に来院し施術を開始した。初見時よ り母指 IP 関節の自動伸展制限を認め、長母指伸 筋腱断裂を疑った。担当医に相談するよう患者に 伝えたところ担当医は経過観察との答えだった ため、セカンドオピニオンを聞くために整形外科 の手外科専門医に紹介した。そこでは手術適応と の診断で令和7年1月6日に腱移行術を施行され た。(写真1)

(写真1)



<症例 2>

80代女性。令和7年1月1日旅行中に雪道で滑 り転倒し受傷した。1月4日に当院来院し橈骨遠 位部に腫脹と圧痛を認めたため骨折を疑いエコ ーで確認を行なった。エコー上大きな転位がみら れなかったため、長母指伸筋腱断裂の合併を予防 する目的で thumb spica 固定を行い近医へ紹介し た。保存療法を受け、2週間後に当院来院した際 に母指 IP 関節軽度自動伸展制限がみられた。伸 展障害は軽度で日常生活に問題ない程度であっ たためそのまま経過観察とした。

(写真 2) (写真 3) (写真 4)



(写真 2)



(写真3)



(写真 4 thumb spica 固定)

<考察>

長母指伸筋は尺骨と前腕骨間膜の後面から伸 筋腱区画の第3区画を通り、停止腱の向きを母指 へと変え、母指末節骨の底に停止する。

機骨遠位端骨折後の長母指伸筋腱断裂の要因として様々な報告がされているが、転位の少ない骨折に多く発生し、骨折による背側皮質の sharp edge、第Ⅲ区画狭小などで腱の滑走による機械的摩擦が起こり断裂に至ると報告されている。また、解剖学的に血行不良が起こりやすい要因も加わって長母指伸筋腱断裂に至るとの報告もある。

模骨遠位端骨折保存療法後の長母指伸筋腱断裂の発生率は整形外科ガイドラインによると 0.4 ~4.9% と記載されている。また、手術療法後にプレートやスクリューの機械的刺激により腱が擦り切れ生じることも報告されている。

頻度の多い合併症ではないが生じた場合は日

常生活に比較的大きな支障をきたす。完全断裂した場合には保存療法は無効で手術が必要となるため治療期間が長期化し多くの問題が生じるので軽視できない合併症である。

橈骨遠位端骨折受傷後の長母指伸筋腱断裂発 生までの期間は受傷後数日から数ヵ月と報告に より差がみられる。そのため骨折が治癒した後に 母指 IP 関節の自動伸展障害を訴え来院すること も多い。

長母指伸筋腱断裂を合併する可能性の高い橈骨遠位端骨折の所見として、代田らは1.リスター結節のわずかな骨不整像、2.第Ⅱ・Ⅲ区画遠位部の限局性腫脹、3.リスター結節付近の限局した圧痛、4.母指運動痛(手関節背側から前腕背側に放散)、5.長母指伸筋腱滑動時の crepitation (轢音)/snapping (弾発現象)の5項目を長母指伸筋腱at-risk signとして報告している。

我々柔道整復師も確認できる項目があるため、 所見を認めれば速やかに対応する必要がある。

骨折後の長母指伸筋腱断裂の腱断端は切創によるクリーンカットな断端と違い擦り切れて変性しているため断端同士を直接縫合することはできない。そのため固有示指伸筋腱を利用して長母指伸筋腱に腱移行するという術式が多く用いられている。

以上のことより橈骨遠位端骨折で転位が少なくat-risk sign が認められる症状に対しては腱の滑走を制限するために、はじめの2週間程度 thumb spica 固定することが有効な方法である。骨癒合が得られ可動域訓練を開始する患者においても注意深く観察し、腱断裂が疑われる場合には速やかに手外科専門医に紹介するのが望ましいと考える。

<まとめ>

橈骨遠位端骨折後に生じる長母指伸筋腱断裂に関して文献的考察を加え報告した。軽微な骨折ほど発生し易い点に注意が必要である。そのため、骨折の処置のみならず合併症発生の可能性を常に念頭におき固定方法を工夫し、異常を認めた場

合には速やかに医師へ紹介するなど状況に応じて対応することが大切であると考える。

参考文献

- 1) 堀之内駿ら: 橈骨遠位端骨折に対する長母指伸筋腱断裂の検討 整形外科と災害外科学会 67(3)475-478 2018
- 2) 日本整形外科学会: 橈骨遠位端骨折診療ガイド ライン 2017 改訂第2版 52-54
- 3) 伊藤博紀: 長母指伸筋腱の滑走床障害を予防すべく背側展開を併用した橈骨遠位端骨折手術例の検討 日手会誌 第31巻 第2号24-7 2014 4) 澤田智一ら: 長母指伸筋腱断裂を生じた橈骨遠位端骨折の画像所見の特徴 日手会誌 第31巻 第2号 13-15 2014
- 5) プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学/運動器系 2008
- 6) 代田雅彦ら: 橈骨遠位端骨折に続発する長母指伸筋腱断裂の予防法 日手会 第 21 巻第 4 号 542-548 2004

上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の2症例を考察



大和支部 山口 善弘会員

【Keywords】Osteochondritis dissecans, ギプスシーネ固定, バットスウィング

【はじめに】

上腕骨離断性骨軟骨炎(以下 OCD) は活動性の高い若年者の肘関節にみられる骨軟骨障害である。特に投球動作にて損傷を起こしやすく野球少年に多く発見される疾患であるが、OCD は体操競技、テニス等の上肢を使用するスポーツ選手にも散見される。OCD は上腕骨外側小頭関節軟骨直下の骨組織がマイクロストレスの繰り返しにより軟骨下骨が損傷を起こしたものもしくは損傷組織が母床より分離し壊死した病型がある。OCD の病型や病期については三浪1)や岩瀬2)らが示した単純X線の分類に従って透亮期、分離期、遊離期に分けて論じられることが多い。透亮期初期では無症候性に進行し経過とともに悪化して遊離体形成、変形性関節症へと進行していく症例が多くみられる。

治療の基本方針は骨端線閉鎖の有無と病巣の安定性に基づき、MRI 及びX-ray などの画像検査にて透亮期、分離期で病巣が安定している症例には保存療法が選択され母床より遊離している遊離期の症例に対しては観血的療法が選択される。

今回無症候性 OCD の野球選手を同時期に施術し治療過程において骨化が早期であった対象と遅延した対象の問題点を報告する。

【症例 1】

12 歳 男性

投球指導講習時、右肘関節内側痛ありエコーにて 観察。内側上顆骨端線部に軟骨損傷を確認(図1) するも上腕骨小頭に移動させた際欠損像を確認 した為、整形外科都賀誠二医師へ依頼し0CDと診 断受け後療法開始となる。

【症例 2】

11 歳 男性

野球肘検診にて OCD と診断受け見目智紀医師より 同日後療法依頼受ける。

同月に担当整形外科田澤諒医師の指示のもと上腕骨近位から前腕骨遠位のシーネ固定開始。

本発表に際し、症例の家族より画像提供及び口頭での同意を得ている。

【施術内容】

初検当日より LIPUS 超音波を伊藤超短波社製 ST-SONIC を 30mW/cmの出力にて上腕骨小頭外側へ前額面及び後方から挟み込むように取り付け 1W4回 20 分開始し両者とも胸郭タイトネスを確認した為動的ストレッチマシンにて胸郭トレーニングを開始。肘関節可動域制限あり軽度の肘関節モビライゼーション、前腕筋群 M-ex を行う。両者とも施術内容は同一とした。

【施術経過】

初検時理学所見(表 1)は両症例とも上腕骨小頭に圧痛を認めず肘関節可動域制限確認。ファンクショナルムーブメントスクリーン(以下 FMS)スコア 1。肩関節可動域制限なし。初検時後方走査短軸像のエコー画像では症例1は上腕骨小頭外側辺縁から中央に不正像が観察され(図 1)症例2は上腕骨小頭外側辺縁部に不正像を観察することができた(図 2)。症例1では4か月目までは順調に骨化を認め、同時期よりバットスウィングの調に骨化を認め、同時期よりバットスウィングが骨化に悪影響を及ぼしてバットスウィングが骨化に悪影響を及ぼしていると考えられ、バットスウィングの頻度回数を制限しヒンジ付き装具を装着し患部の安静を保つ方針へ変更した。その結果、

7か月後から骨化再生が見られ始めた。症例 2 は ギプスシーネ固定を行った。経過を追うごとに骨 化され 3 か月後よりシーネ除去。回数や頻度を制

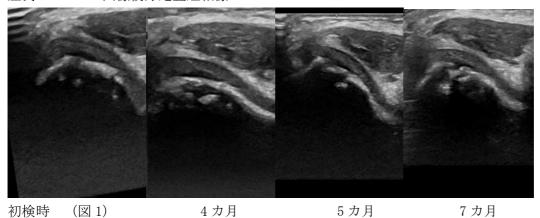
限しながら素振りやバッティングの開始。4 か月後より制限付きでの投球を開始し、5 カ月経過後も骨化良好であった。

〈症例1症例2の初検時理学所見〉表1

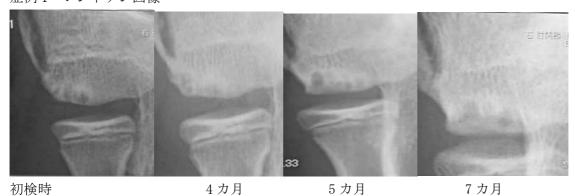
	症例 1	症例 2
上腕骨小頭圧痛	無し	無し
肘関節可動域	屈曲 140°伸展−3°	屈曲 135°伸展-5°
FMS によるディープスクワット	スコア1体幹部前屈	スコア1体幹部前屈
肩関節可動域	正常可動域	正常可動域

〈エコー観察画像およびレントゲン画像〉

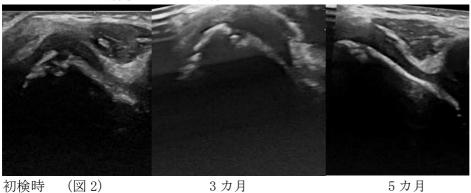
症例1 エコー画像後方走査短軸像



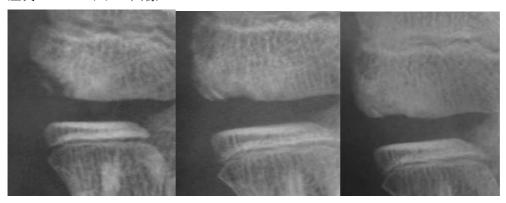
症例1 レントゲン画像



症例2 エコー画像後方走査短軸像



症例2 レントゲン画像



初検時

3 カ月 5 カ月

【考察】

渋谷 3)らは、平均年齢 12歳の野球選手が主体のスポーツ選手のOCDに対し、ギプス固定を平均3.7週行いその後続いてスプリント固定を平均7.3週施行した例と、投球禁止のみを比較した結果、投球休止期間はそれぞれ4.4か月と8.2か月でギプス+スプリント固定群が有意に短く、完全治癒率はそれぞれ92%(平均5.5か月)と41%(平均16.4か月)でギプス+スプリント固定群で有意に高かった報告している。

症例2も報告と同様にギプスシーネ固定を実施 しその結果、症例1と比較して骨化の経過が良好 で4か月で投球再開となっている。

OCD では患部の安静のみが多く肘関節の使用は 比較的自由とされていることが通常であるが、症 例2において透亮期の不安定な期間は患部を安静 固定することで早期に骨化が促進された症例で あり本疾患においても軟骨骨折と同様に考え安 静固定の重要性が示唆された症例であった。

本疾患の運動開始時期は責任病巣の占有率が低下するにつれバットスウィングから開始し投球を再開するが、症例1では安静期間までは順調に骨化か進んでいたが、バットスウィング開始後から投球禁止しているにも関わらず骨化が遅延した。症例1の選手は常に活動性が高くチーム関係者からの聴取では練習時1日バットを振り続けていた報告も聞き患肢の使用が頻回であったと考えられる。本疾患での素振りやバッティング、投球開始からの投球回数や頻度についての文献

は少なく、バッティング及び素振りの回数や頻度についても明確な指針はなく特に選手に指示していなかった。結果として透亮期の不安定な軟骨組織にストレスをかけていたことが骨化遅延の一つの要因ではないかと推測できる。阿江4)らの打撃動作における左右上肢のキネティクス的分析によると、バレル側肘関節(右打者であれば右肘関節)にかかるトルクはバットスウィング開始の40%から肘関節に屈伸トルクが出現し80~100%付近で屈曲伸展トルクが最大に掛かるとされており、このことを踏まえ体開きが早くバットヘッドの出が遅い選手やスウィングスピードが速い右打者では右肘関節に屈曲外反ストレスが掛かり易く投球時の肘関節と同様なストレスが上腕骨小頭に掛かると推測される。

両症例を比較すると安静期間までは骨化形成にわずかな差でしかなかったが過度な活動再開により骨化が遅延していくことが示唆され透亮期の軟骨下骨が不安定な時期において安静度の重要性を確認することができた。

選手や家族は本疾患に対して認識が低く、痛くないのにプレー出来ない・させられないジレンマやバットスウィング許可で野球に復帰できた嬉しさから、バットスウィングの頻度が多くなる傾向に有る。透亮期の不安定な時期は過度な肘関節の使用を控えさせできる限り安静を指導し投球動作だけを注視するのではなくバットスウィングの頻度や回数、フォームチェックを適時指示し指導する必要性を認識し今後の施術指針として

いきたい。

今回の2症例はまだ骨化完了していないので、 今後の経過を充分に精査し追って報告する。また 骨化が完了した後に再度0CDを発症し観血的療法 に移行する選手も見受けられる為、骨端線閉鎖後 までは右患肢であれば左打ちにコンバートさせ ることやバットスウィング頻度を指示し投手は 控えさせ、比較的手投げになり難い外野手にコン バートさせることを指導することも必要ではな いかと考えられる。

【謝辞】

太田総合病院都賀誠二先生、北里大学病院見目智 紀先生、田澤諒先生におかれましては今回の症例 報告にご快諾頂けました事を心より御礼申し上 げます

〈引用参考文献〉

- 1) 三浪三千男,中下健,石井清一ほか:肘関節 に発生した離断性骨軟骨炎25例の検討. 臨症整 形外科14:805-810,1979
- 2) 岩瀬毅信, 井形高明:整形外科 MOOKNo54. 肘関 節の外傷と疾患.(柏木大治編).金原出版, 26-44
- 3) 渋谷 眞大, 原田 幹生, 宇野 智洋, 丸山 真博ほか: テニス検診で検出された肘離断性骨軟骨炎に対し, ギプス固定による 保存療法を行った 男子ジュニアテニス選手の 1 例 日本肘関節学会雑誌 30 (2) 2023
- 4) 阿江 数通, 小池 関也, 川村 卓: 打点高の異なる野球ティー打撃動作における 左右上肢のキネティクス的分析 体育学研究 59:431—452,2014

新井 猛, 別府 諸兄ほか:上腕骨小頭離断性 骨軟骨炎の 保存療法の成績とその限界 整スポ 会誌 VOL31

高原 政利,戸祭 正喜ほか:画像診断,分類, 病理,および病因 整スポ会誌 VOL31

岡田千佐子, 柏口新二ほか:上腕骨小頭離断性骨

軟骨炎の 病変部位と病期の関係―超音波画像検 査による検討

日本臨床スポーツ医学会誌 Vol. 25No. 1, 2017.

柔道整復師が取り扱う超音波画像観察の歴史



横浜西支部 村山 正会員

【 keyword 】超音波画像観察 柔道整復史学 【初めに】

柔道整復師が超音波画像観察装置を利用し外傷に対する画像解析を始めた歴史を知ることは必要であり、当時の担当者の柔道整復術に対する貢献を会員が理解し将来の柔道整復術に役立てることをこの発表に託したいと考えます。

【歴史】

現在の医療用超音波発生装置の基礎となる出来事として、1912年に起こったあの有名な豪華客船タイタニック号の沈没事故がきっかけである。船から海中の氷山の位置を調べる方法として、水の中で減衰しにくい超音波が跳ね返ってくるまでの時間を測定し、1914年には3km先の氷山を見つけられるようになった、その年に始まった第一次世界大戦では、潜水艦の位置を知る目的にも利用されたとの文献がある。

医療の分野に超音波が登場するのは 1950 年代で、超音波の組織破壊作用を生かして、末期癌の痛みやパーキンソン病に対して脳の一部を破壊する試みがなされていた。また、現代でも行われている超音波による理学療法もこの頃から始まり、診断の分野でもこの頃から胆石や乳腺腫瘍に応用され始めた。

<整形外科分野>

超音波診断法による骨折の報告

1958年 新宮先生

1959年 山本先生

1966 年瀬戸先生は肋骨骨折を発表

上記を学会誌にて山脇慎也先生・石井清一先生 が報告されている。(日本超音波学会)

《日本超音波学会》

平成元年(1989年)7月29日京都市において第 一回学術集会を開催した。

《学会誌》

「超音波診断による新生児先天股脱検診」 新潟大学整形外科学教室(主任:高橋栄明教授) 渡辺研二先生

画像等は著作権保護のため各位にて掲載論文を ご確認ください。

新潟医学 会雑誌 第 107 巻 第 2 号 平成 5 年 2 月

《学会発表内容》

1986年1月から1991年9月までの新生児の極小 未熟児等に対し超音波断層装置にて股関節診を 実施した。との報告。

<柔道整復師会分野>

昭和58年(1983年)4月

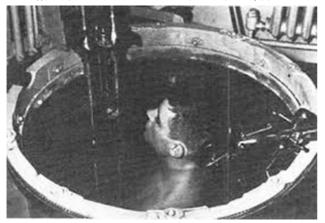
日本柔道整複師会学術委員会内にて超音波研究 開発委員会が開設され日本柔道整復師会は将来 的に必要性があり得る画像解析に関する知識を 集積し、その特別委員会を開く機運が高まり学 術委員会で議論され池添誠佑委員長、高橋彰副 委員長の決断により超音波小委員会が創設され た。日本柔道整復師会は、超音波診断機器3台 を準備し下記3名にて研究を開始した。

顧問 筑波大学教授 藤田紀盛博士 委員長 志保井 義忠 (帝京科学大学) 副委員長 岡本 武昌 (明治国際医療大学)

【方法】

昭和 61 年 (1986 年) 9 月 本田電子 (株) 製プローブ 3.5MHz 機種 筑波大学藤田紀盛教授の指導のもと東京・志保 井委員・大阪・岡本委員が実験を開始した。

研究方法として、大学関係(筑波大学)の超音波画像の研究学者、幾多の大学研究室(藤田研究室)にお邪魔し画像の現況を見て回り、大な収穫のある見学実習と実践活動を行った。 ※水槽の中に手を入れて形を見る等の解析



しかし現実は水槽の中の物体の形が分かる程 度の画像状況が続き想定する画像描出が出来ず に苦労の連続であった事の報告がある。

また、スイカの種の多さを超音波で見て多ければ甘いという研究結果の報告が有った事を参考に研究材料とし画像描出を研鑽した。

【画像描出実験】

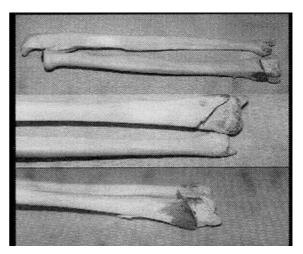
< 牛・肉・骨を使用による硬・軟材の使用実験 >

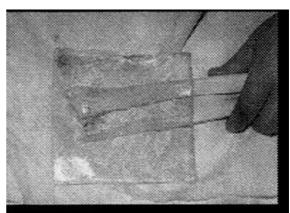
牛肉 10 kg・牛の大腿骨顆部・牛の肋骨を使用 し骨折部を作成し画像描出を行った。

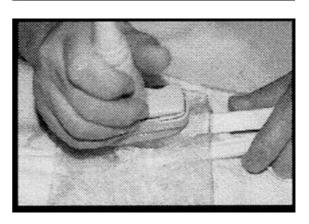
1998年 第7回柔道整復接骨医学発表

「超音波法による骨観察の妥当性に関する実験的研究」桜井庄二、仲谷龍太郎、田中達也、村山正、志保井義忠



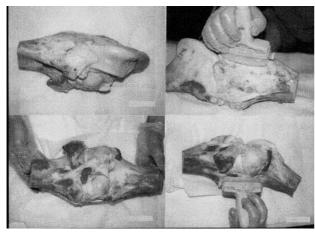














昭和62年(1987年)10月 第20回日本柔道整復接骨医学会・大阪学術大会で5MHz機種を本田電子(株)製の機種を公開した。画像は初期の者より鮮明となり観察装置としては最新機種であった。この機種は患部画像・健側画像の二面の画像を同一表示する機種を試作し、学会当日デモとして展示をした。

<超音波小委員会>

昭和63年(1988年)4月 線描き断層画像から 形態を捉える太書断層画像表示に変更された。

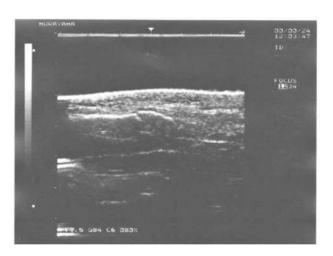
<柔道整復接骨医学会発表>

1992 年「筋硬結部位への手技負荷方法の策定と 超音波観察」志保井義忠

1993年「膝部周辺に対する超音波観察法」志保 井義忠

1993年「自験例、アキレス腱皮下断裂」村山 正・志保井義忠

(使用機器) アロカ社 SSD650CL 7.5MHZリニア電子走査方式

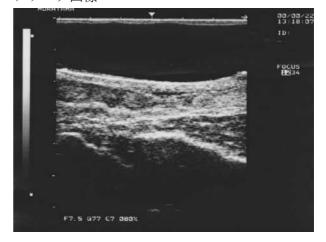




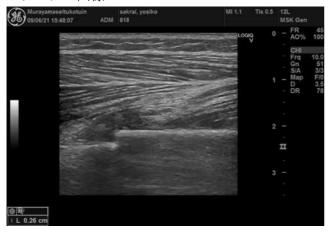
以降、柔道整復接骨医学会画像解析分科会として研究活動とともに発表を行う。

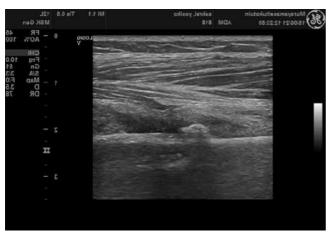
<画像解析比較>

アナログ画像



<デジタル画像>





【考察】

現在超音波画像観察はデジタル化により多くの医業種が利用している。1983年に発足した超音波小委員会の3名で、画像とはいえない状態のアナログ画像の描出から始まり、どのようにすれば柔道整復師が利用し柔道整復術に活用できるかを模索していた事がうかがえる。

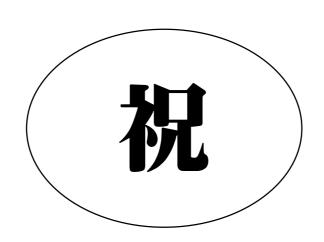
デジタル化により画像解析が鮮明になった事で軟部組織・骨質が確認しやすくなった。これにより整形外科医・理学療法士等のエコーの使用比率が上がり、また研究や臨床実績を多く発表され軟部組織損傷の診断および治療には欠かせないものとなった。(一社)日本柔道整復接骨医学会における柔道整復師の学術発表も以前より多く今後の外傷の判断材料として使用されると考えられる。

しかしながら整形外科医・理学療法士と比較 した場合、学術論文数・臨床数が圧倒的に少な くエコーを使用している柔道整復師は個人の知識として扱う状況下であると考える。

業界の未来を託された現在の柔道整復師が今後の発展を目的とし尽力された先生方の思いを将来の柔道整復師に託すためにさらに研究を重ねることが必要となる。柔道整復師の学術離れが叫ばれる現在、超音波画像観察を通していかに努力し柔道整復術を研鑽してきたかを配慮し、我々も技術を磨き続ける事が重要だと考える。

【引用・参考文献】

- ① 放射線医学の歴史 (https://www.radiologyhistory.online/index.html)
- ② 日 本 超 音 波 医 学 会 (https://www.jsum.or.jp/members/about/overview/)
- ③ 一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会 論 文集



第46回

神奈川県柔道整復学術大会

(順不同)

協同	組	合
株式会社デジットシステ	ム	≅ 03-6457-8754
株式会社JC	M	७ 0 1 2 0 − 3 2 2 − 7 5 5
株式会社エス・エス・ビ]	७ 029−839−0346
有限会社メープ	ル	७ 0 4 5 − 7 4 2 − 9 3 9 3
日本システムクリエイト 株式会	社	≅ 03-3736-1151
株式会社エフ・エス・シ	<u> </u>	७ 045−664−3131
新横浜グレイスホテ	ル	∞ 0 4 5 − 4 7 4 − 9 5 1 5
株式会社 B&Sコーポレーショ	ン	७ 03−3288−0117
株式会社 OAシステムシャー	プ	≅ 03-5343-2531
賛 助	会	員
有限会社 吉 岡 印	刷	७ 0 4 5 − 7 4 1 − 3 4 5 2
株式会社 H S	K	७ 03−6272−8575

接骨・整骨院向け最新型レセプト処理システム



理想の レセコンが 誕生! 接骨院・整骨院の業務を 飛躍的に効率化する、

究極のレセコンが誕生。

☑ 簡単で易しい操作性 ☑ 充実のサポート ☑ インフォームドコンセント対応 ☑ 高い拡張性

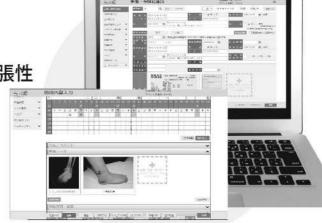
普段の管理をより効率的にサポートする 充実の次世代機能が結散!

統計分析

各種フォーマット

高セキュリティ

etc...



★お客様のニーズに合わせた運用プランをご用意しております!





担当者別のご予約から予約状況の確認まで スマホ・PC からラクラク操作で簡単予約♪ 予約管理効率が飛躍的に向上!

- ☑ 簡単で直感的な操作
- ☑ 3stepで簡単予約
- ☑ 弊社レセコンとも連動
- ☑ 自サイトから簡単接続
- ☑ レスポンシブ対応

★LINE 公式アカウント と連携可能!!



※予約画面イメージ

接骨院・整骨院向けホームページ制作サービス

院サイトの

接骨院・整骨院 経営者の皆さま 格安でHPを 作りませんか?

おしゃれなHPで集客UPを!

■ 低価格でホームページを作りたい!

■ しっかりしたホームページが欲しい!

■ 新しい集客の導線が欲しい!

■ 急いでホームページを作りたい!

■ 整骨院業界に詳しい会社を探している!

■ どうしたらいいかわからない!

格安制作 業界専門 更新お任せ スマホ対応 高品質 独自ドメイン net.jp/

▶ 詳しくは http://www.insite-net.jp/

各製品のお問い合わせ・資料請求はぜひお気軽にご連絡ください。

株式会社デジットシステム [整骨院向けレセプトシステム、ホームページの開発・販売]

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-8-16 淡景ビル5F http://www.digitsystem.jp/

お問い合わせ・お申し込み

03-6457-8754 qa@digitsystem.jp

関東学術大会ご来場の皆様へ



乗り換えるなら、 JCMのあんしん買取。

長い年月、人生を共に過ごした愛車を手放すのは寂しいものです。 創業1984年の実績をもつ、JCMなら納得のいく査定価格と親身な 対応。安心してお任せください。

創業 1984年

に変更も可能!

買取金額5万円未満は 対象外となります。

1,700社と提携

JCMは、都市銀行・生損保・社団法人などが設立した唯一の自動車流通商社です。



© 0120-322-755

[受付時間] 9:30~17:30(月~土) ※日・祝休み

1分で出来る!



JCM

株式会社JCM クルマ買取サービス ■当社は皆様の愛車をオークション・業販などを通じて業界に供給する会社です。

T330-0074 北浦和大栄ビル2F

札幌支店/仙台支店/さいたま支店/東京本社/ 〒330-0074 名古屋支店/大阪支店/広島支店/福岡支店/ さいたま市浦和区北浦和4-5-5 四国エリアオフィス









導入実績10,000件以上!!

骨院・整骨院のレセヨシなら 0.1の『三四郎《ん』

柔道整復師向 事務管理システム





使い勝手の良い操作性はもちろん、療養 費改正等にすばやく対応。迅速サポートで ご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に 進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフ トです。

※一部ご希望に添えない場合があります。

《超音波観察装置》

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。





柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。

HS-2200

医療機器認証器号 225AHBZX00034 製造販売元:本多電子株式会社

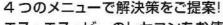
Aplio air

医療機器認証番号: 306ACBZX00021000 製造販売元: キヤノンメディカルシステムズ 株式会社

保険請求 Q A

保険請求の"お悩み"ございませんか?

- 相談したいけど誰にきいていいか分からない。
- ・返戻がきたけど対応が分からない。
- ・実は保険の基本的な事が分かっていない。
- ・保険改正の変更点などが分かっていない。



エス・エス・ビーのレセコンをお使いのお客様は無料でご利用いただけます。

SSB保険ニュース 保険の改定を分かりや すく解説!

返戻知恵袋 実際にあった返戻の解 決策をご提案!

保険アカデミー 動画などで保険の基 本が学べる!

返戻対策キット

準備不足を解消!問診 票や院内掲示物をダ ウンロードできる!



株式会社エス・エス・ビー

https://www.sanshiro-net.co.ip/



〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース https://www.jusei-news.com

ホームページはこちら▶

レセプト自動作成システム(特許第2915339号)

for Windows Vista 7 · 8 · 10 · 11



特許取得のバーコードシステムで高速自動印刷

パソコンが自動でバーコードを確認し、誰のデータかを判断して印刷 するので、レセプトを月別や種類や順番に関係なくセットできます。

もしプリンタが用紙を2枚送りしても、1枚づつずれたりしないので 安心です。だから、印刷中付きっきりで見ている必要もありません。

会計・青色申告/統計・分析/画像取込など多彩なメニュー

会計や統計メニューも充実。患者ごとの日々の経過入力・画像の取込機能や、保険証未確認・ バックアップ・サインもらい忘れ・入力ミスなどに対する多彩なチェック機能があります。

統計分析メニューでは、保険種別・性別・世代別の金額や通院日数・日毎の通院日数・ 時間毎の通院数・地域別の来院数など、様々な角度から来院状況を把握出来ます。

日々の通院記録もバーコードで簡単・便利

バーコードを「ピッ」と読むだけで、日々の通院が記録されます。

請求前に、まとめて手動で入力するより、ずっと簡単です。 しかも、請求前の仕事がひとつ減るので、かなり楽です。



好評!ソフトレンタルシステム

ソフトがレンタルなので、ニューバージョンへの入れ替えも随時可能です。また、余計な出費なしにいつでもパソコン・プリンタを買い換えられます。

保険改定や新機能追加等も無料でバージョンアップします。 故障時の代替機を含めたメンテナンスも無料で行っています。

※メーカー修理代は実費となります。

- お問い合わせ先 -

バーコードシステムの

神奈川 営業所

〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川1-877-9 幸ビル2F FAX 045-742-8057 TEL 045-742-9393

大 阪本 社

〒563-0034 池田市空港1丁目 11-25 エレカンス・エアポート 205 TEL 06-6841-7515 FAX 06-6850-4047

整骨院・治療院向け総合システム

統合顧客管理システム / レセプトシステム

昭和54年創業 全国5,000件以上に導入頂いているレセコン「BOOSTER」シリーズ



柔整システム

- 一般保険・自賠責・労災
- · 各種証明書印刷 · 患者宛名印刷
- ・返戻を防ぐ入力内容チェック機能
- ・メール一斉送信機能・その他機能多数

接付院、整日院の思考管理からレセプト 請求作業が行えます。



鍼灸・マッサージシステム

- ・往療距離自動算定
- ・同意書印刷 ・同意期限切れチェック
- 個人請求対応その他機能多数

(鍼灸・マッサージの患者管理からしせつ
ト請求作業が行えます。 複数の腕術者に
よるデータ管理も可能です。



お客様からいただいたご質問についてお答えします

- 導入時はどのような保守サポートをしてくれますか?
- 担当営業が訪問し、システムのセッティング、基本の操作方法 からレセプト提出の流れまでを慣れて頂くまで丁寧に説明いた
- **(a)** 保険の制度改定や料金変更などの対応は?
- 都度、バージョンアップの更新CDを郵送させていただきます。
- パソコンが故障した場合どうすれば良いですか?
 - 修理期間中は代替機を無償にて、貸し出しております。

業務効率をさらに向上させる追加機能





レシートプリンタ・



張り金の入力により、おつりも表示 され、会計がスムーズにできます。

集計分析・自費 物販管理システム

- ・単価 仕入値設定
- ·商品·患者別売上管理
- · 来院動機、曜日別、年代、 男女別各種集計
- ・各種条件来院分布データ出力・その他機能多数

日西思者の末院 売上の管理や保険を含めたアータの集計分析が行えます。 集客や院の現状把場に活かせます。



財務連動システム

- 前年同月対比表・申告書作成
- 予算実績対比表その他機能多数

-毎日の海口徴収金、月末の保険請求金



日本システムクリエイト株式会社

NIPPON SYSTEM CREATE CO., LTD.

ブースター柔整



https://www.n-s-c.co.jp/booster/



東北営業所一

T980-0014 字80-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目5番28号 カーニーブレイス仙台駅前通603

名古屋営業所

TEL 052-218-5875

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1丁目20番8号カーニーブレイス名古屋伏見4F

大阪営業所

TEL 050-6875-6538 TEL 06-6940-6131

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目1番3号大阪駅 前第3ビル2307

九州営業所

TEL 092-409-4370

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目7番35号 博多ハイテックビル505

東京本社

TEL **03-3736-1151**

〒144-8721 東京都大田区蒲田 5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア2F

接骨院・整骨院向けのレセコンと医療機器のご案内です!!

煩雑な保険請求業務から先生方を解放!

レセプト発行システム

余計な機能を省いたシンプルな設計により使い勝手の 良い操作性と低価格を実現したレセプト発行システムです。 シンプルで操作性の高いレセコンなので、

パソコン操作が苦手な方でも安心してお使いいただけます。



POINT

01 シンプルで簡単入力

保険請求業務を行う際に必要な 最低限の機能に絞り込み、使い 勝手の良さにこだわったレセコ ンです。

POINT 充実した **02** サポートサービス

営業担当の定期訪問の他、リモートでのサポートも行っております。 また、トラブル発生の際は営業担当 とシステム担当が連携を取りつつ、 迅速な対応を行います。

POINT リーズナブルな **03** 価格設定

導入費用を抑えつつ、保守契約により、法改正や料金改定に伴うシステム変更の際も一切追加 費用はいただきません。



辛い痛みを無痛で治す!(無痛筋振動電流)

次世代型 電気治療器

インテレクト コンボ2

最新のテクノロジー搭載 電気と超音波のコンビネーション治療 ビリビリせず痛くないので、電気が苦手な方でも治療可能です。 エビデンスのある治療電流で、多くの効果が同時に受けられます。

鎮痛

再生

運動

筋力UP



最新感覚の治療です。 是非体感してください!

デモンストレーションのご希望の際は お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 (販売代理店)

株式会社 エフ・エス・シー

神奈川県横浜市中区尾上町 5 - 7 7 - 2 大和地所馬車道ビル 8 階 TEL: 045-664-3131 FAX: 045-664-3230

営業部担当:浅海 秀勝 (070-6998-5876)

E-mail: asaumi@fscnet.co.jp http://www.fscnet.co.jp



詳しくはHPをご覧ください



横浜で 62年

印刷業界は、活字・写真植字からフルデジタル化へと進化しました。 当社では、お客様からお預かりしましたデジタルデータ (Win,Mac) を有効に活かして、低コスト印刷を目指しております。



オンデマンド印刷を始めました

オンデマンド印刷とは、高細密のトナーによるレーザープリントのこと。 「カラーダイレクト印刷」とも呼ばれます。

On demand=「要求があった時にサービスを提供する方式」。

版を使用せず、パソコンからデータをプリンタに送り印刷します。

版の作成が必要なくデジタルデータを直接出力するので、

カラー印刷や小ロットだと単価が安くなります。また、短納期で制作が可能になり、 納品までスピーディに実現します。

YOSHIOKA — 1963 —

カタログ 伝票

社内報

ポスター

パンフレット

封筒

チラシ

名刺

有限会社 吉岡 印刷

〒232-0061 横浜市南区大岡三丁目 4 番 8 号 Phone: 045(741) 3 4 5 2 Facsimile: 045(712) 6 8 2 3

E-mail:y.printing@gray.plala.or.jp



宿泊・婚礼・宴会・レストランのご利用に最適な好立地&好アクセス











神奈川県柔道整復師会の皆様

小規模な催し物から、最大380名様までご利用いただける大宴会場まで、 多彩なスペースと設備をご用意しております。

新横浜グレイスホテルでは、これからも快適で安心できる環境とお食事を提供し、 お客様にご満足いただけるよう努めてまいります。

何かありましたらお気軽にご相談ください。

詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

新横浜グレイスホテル 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-6-15 JR 各線/市営地下鉄/相鉄·東急新横浜線 新横浜駅より徒歩1分 TEL 045-474-9515 (宴会予約) 平日 9:30~17:30

新横浜グレイスホテル 検索



接骨院専門 で豊富な実績!! 接骨院·整骨院専門に

ホームページ制作を行っていて 400件以上の豊富な実績 だから安心できる!!



圧倒的な スパの良さ

-ムページ制作でも最安値級の 初期制作費と月額管理費で 公開後の文章や写真の更新 にも対応してくれる!

つ円でホームページが持てる!



○ 3つの中から貴院に合わせたプランをご提案します

安価なのに本格的ホームページ

ベーシックプラン





¥ 30,000 (8)1



¥ 3,000 ≈

初めてホームページを持つ方にお勧め! テンプレート形式でお好きなデザイン、掲載 内容をお選びいただき、安価でも本格的な ホームページを作成できます。

お手頃価格でデザイン性が高い プレミアムプラン





¥ 150,000 (#3))



6,000 (8291)

デザイン性の高いホームページをお手頃価格 で作りたい方にお勧めです。

サイト内ブログも無料で搭載!症例などをブ ログ形式で掲載することも可能です。

内容もデザインも自分好みに オリジナルプラン





¥ 250,000 ^(R)



なし

ページ数もコンテンツも無制限!貴院の思い 描くホームページを制作できます。

自分で更新できるWordPressでの制作にも対 応しております。

接骨院・整骨院専門ホームページ制作

ほねぺじ

お電話でのお問い合わせはこちら

₹ 03-6272-8575

制作のお申込み・制作実績を見るならこちら

https://www.honepage.com

株式会社HSK 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル8F









お家での"からだケア"

施術をサポートする

サスリメント

導入してみませんか?



医療機関

取り扱い件数 2,900 件以

※2024年9月時点

豊富な臨床データ

40年以上の販売実績と 積み重ねた臨床データ

さらに安心・安全



高いリピート率

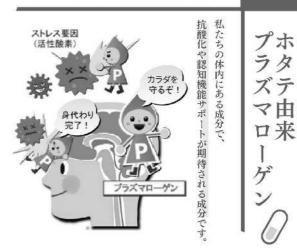
安定した収益で、 院内経営もサポート

「乳酸菌生成エキス」をお飲みいただいているお客様126名様対象調査 で「続けたい」「まあ続きたい」と回答した人の割合 (2019年4月)

乳酸菌研究 100 年の答え。



すっきりと冴えた毎日に。



【お問い合わせ先】

メールはこちらからも!

☎: 03-3288-0117 (営業時間 / 9:00~17:00 土日祝除く) ≥ : biz-info@bandscorp.jp 株式会社ビーアンドエス・コーポレーション 〒102-0083 東京都千代田区麹町6-2-6



編集後記

本年度は、会員発表の投稿が少なく会員1名と学術部2名にて論文を作成しました。 我々は医療類似行為者ではありますが医療の一端を担う国家資格者であることはその行為に 責務を感じ日々研鑽に努めなければなりません。

研究発表も柔道整復師の技術の向上を目的とし柔道整復術のエビデンスの構築また、将来 の柔道整復師のための技術の伝承を目的と考えます。

本会会員の多くの諸先輩方が発表論文を作成する事の重要性をご理解していただきたいと思います。

最後に、会場を提供していただきました学校法人平成医療学園 横浜医療専門学校学校長吉田洪先様には心より感謝申し上げます。

学術部長 村山 正

発 行 所 〒222-0033

横浜市港北区新横浜3丁目18-16 新横浜交通ビル6階

公益社団法人神奈川県柔道整復師会

TEL 045 (473) 0735

FAX 045 (474) 0628

発 行 人 会 長 齋 藤 武 久

編集責任者 学術部長 村 山 正